

県退教協だより NO. 82

長崎県退職教職員等連絡協議会

長崎市筑後町二一 教育文化会館

☎〇九五―八二二―五一九五

日本の墮落を許さず、 誇りある日常を手

日退教 会長 西澤 清



日本はついに、「カ
ジノと戦争」の国
になるうとしてい
ます。

「カジノと戦争」とは、「博打と破壊・殺戮」のことで、今日日本では「私営博打・破壊・殺戮」は犯罪です。日本は、憲法前文に書かれてある「平和を維持し、専制と隷従、圧迫と偏狭を地上から永遠に除去しよう」と務めている国際社会のメンバーから外れ、「名誉ある地位を占めたいと思う。」こともしなくなつたと言えます。国家と政治の墮落です。

世界は、激動が続いています。トランプ大統領誕生、朴槿恵大統領弾劾、「同盟」国で首長を巡って大きな変動があります。また、北アフリカの「戦争」はますます拡大し、大勢の難民が溢れだし、EUでは民族問題などの社会の矛盾が顕在

化し、排外的な意識をむき出しにした、「右翼」が台頭しています。しかし一方で、トランプに危機感を感じたりベラル派が歯止めを動き出しています。

右翼の台頭は、1970年代から続く新自由主義(グローバリズム)と一体で、その帰着するところと言えます。日本の動きは、こうした流れの中に位置づけられ、安倍政権になってから海外派兵などと共に一層加速されています。新自由主義はまた、中間層の破壊、貧困層の増加、格差の拡大を生み出し、国民は耐えがたいところまで追い込まれています。昨年10月、黒田日銀総裁が、敗北宣言をしたアベノミクスは、出口のないまま大きな火車となつて坂道を転げ落ちるでしょう。しかし、失策を認めず反省もない安倍政権は、大惨事を引き起こし、いじめ・差別など社会の構造を歪めた福島原発事故の後処理もしていません。その上、企業育成のため、インドなどに原発輸出を続け、「もんじゅ」の反省もなく、核武装必要燃料のプルトニウムを生み出す高速増殖炉の検討が続いています。さらに、地方自治を圧殺し沖縄の米軍基地建设を強行し続け、日本の抱える矛盾の傷口を広げるでしょう。企業優遇・軍事拡大は社会保障・教育の切り下げにつながります。その結果、高齢者、労働者の生活はま

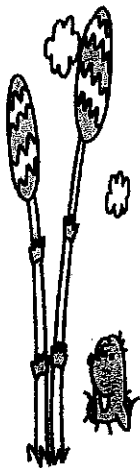
すますます苦しくなります。

今年はそのような傷口の拡大を許すのか、押しとどめるのかという重大な年となります。特に、「教育」に対して新自由主義(民営化)の動きが加速しています。教育に関わつた者として発言を強めていきましょう。「安心して暮らせる豊かな生活」実現と、憲法を生かした「誇りある国」にするため、私たちは、仲間を増やし現職と共に、従来にも増して「平和と生活」「自由と民主主義」「社会保障と教育」を守る運動にとりくんでいこうではありませんか。以上

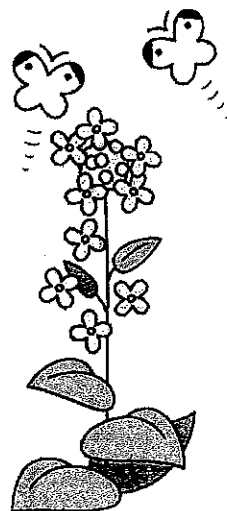


NO.:三七〇号より

転載



2017年1月号



雑感

長崎支部

池田 哲夫

いがるす何 がと本トるルリと敵国 書葉 ま初た市 の損まし
 で字大よ。か次樂いはリ。ピアな対の「が書そ、ま初た市 の損まし
 、を事う字趣、みたセルのハたてに本あるの中、た。日。で。古。昨。の。損。す。
 す忘だにを味、今で雑ビ敵セル青年が暗殺した。の。切手等が収められ、き、
 ぐれと思いつなかつた。頭を、使うこと、
 にた思いつなかつた。頭を、使うこと、
 辞ら、まか、う、た、を、使、う、こ、と、
 書、す、う、た、を、使、う、こ、と、
 で、す、う、た、を、使、う、こ、と、
 調、れ、を、使、う、こ、と、
 べ、る、ほ、つ、と、
 っ、と、
 パ、ソ、コ、

{ 本誌、1P：西澤会長掲載文書に付随の年金改革法案に関する内容文 }

インで調べるとか、即実行がよいと思
 が、安ま。す。倍。政。権。が。長。く。つ。づ。き。そ。う。で。す。
 一、医。療。費。は。高。く。な。る。等。良。い。こ。と。は。
 公、そ。の。た。り。め。に。あ。い。そ。を。つ。か。す。こ。と。が。自
 あり、そ。の。た。り。め。に。あ。い。そ。を。つ。か。す。こ。と。が。自
 し、総。選。挙。を。め。ん。反。安。保。反。自。公。で。頑。張。る。か

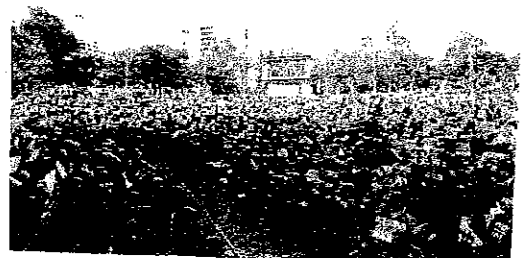
「年金改革法案(年金額の支給抑制)」成立
支給減 賃金下落にも連動
「マクロ経済スライド」も強化

さる12月15日に終わった臨時国会で政府・自民党は十分な議論で国民の疑問に答えることなく、不安を残したままで、TPP法案、IR法案(カジノ法案)、そして前国会から継続になっていた年金改革法案を成立させました。

今回の年金改革法案は、「将来にわたって持続可能な年金制度を保つために」、①現役世代の平均賃金が下がった場合の支給額は、これまで物価が上がれば据え置かれていたが、新ルールでは賃金の下げ幅に連動して減る。物価も賃金も下がった場合には、下落幅が大きいほうに合わせて減る、②支給額が増える局面では「マクロ経済スライド」を強化する。名目支給額を低下させないのは同じだが、目減りさせなかった分は、まとめて物価が大幅に上がる景気回復期に増加幅の抑制に反映させる、というものです。安倍政権は、2017年への持越しを嫌い、「将来の年金がきちんと確保されるのか」という肝心の議論をかみ合わせることなく成立させました。

(具体的内容は次号、および次回事務局だよりで)

「高江オスプレイ・パッド」
 辺野古新基地の建設を許さない！東京集会」
 ～最高裁は沖縄の民意に
 応える判決を～
 ※日退教通信NO.370より



日比谷野音を埋め尽くして

支えられ励まされ

五島退女教 平田明子

五島退女教は結成後、26年がたちます。10名ほどでスタートした会も現在42名。ここ数年新加入者が続いているのは喜ばしいことです。五島列島の名の通り、五島地区の活動は、島々間に渡ります。そのため、福江島(下五島)での定例会に参加するのが難しい方もおられたので、年2回は下五島・上五島別々の定例会にしたところ、上五島地区の会員殆どが参加できるようにしました。今回は、その上五島・下五島別の活動を紹介します。

○ 上五島定例会

昼食を挟んで、近況報告から社会情勢まで語り合っています。今年度は、94歳の中島先生が、ご自身の戦争体験を話して下さいました。今もお元気で、一人暮らしをされておられる先生は、戦争中、北朝鮮で教鞭を執っておられました。「手記に書いたことはあるが、自分の声で伝えたい。それができるのは、自分達しかない。」との思いから話されました。

戦争中「国のため」と何の疑いもなく一生懸命に教師を勤めたこと。ロシア兵から逃れるときの恐怖・引き上げ時の苦しみ、終戦後の空しさや罪悪感に苦しみ、一時教職を離れたこと等々、今だから話さねばとの思いが強く感じられました。戦争は、突然やって来るのではなく、その体制が、今出来ることをやらねば」との感想も述べられました。

○ 下五島定例会

下五島地区は、恒例的に、高齢者を介護施設の見学・慰問、保育園訪問を行って見ます。今回は、富江地区に新設された、認可こども園を見学しました。ゼロ歳児からの126名の園児を、朝7時から19時近くまで受け入れて見ます。五島産の総檜造り、高い天井、広いテラスと、子供達の過ごしやすさを第一に考えられ、子育て支援ルムや児童保育も併設され、働く女性には有り難いことだと思います。

「いいですね、この会は」と言っ下さる94歳の中島先生。五島退女教を発足させ、現在も欠かすことなく、会に参加される87歳の道下先生。その他たくさんの方々に支えられ励まされ、五島退女教は活動

を続けていきます。これからも、大いに頼らせてもらいながら進んでいきます。

退教協・大東支部だより

支部長 藤崎芳憲

1 総会と懇親会

五月二十六日(勤労者センター)約五〇名の組合員の参加のもと、第三八回の総会を開催しました。現場の状況報告を聞きながら、時代の流れと現場教職員の大変さをつくづく感ぜました。

懇親会に入る前、熊本地震への義援金の呼びかけに八七〇〇円の協力がありました。関係先へ送付させていただきます。

2 参議院選挙の取り組み

二回の代表者会討議をふまえ、幹事会(一班、二班)を開き今後の取り組みについての連絡・並びに役員の行動について確認を行いました。

その後、役員による地域へのピラ入れ、選挙区の地区総決起大会への参加、集票活動の点検等を行いました。

3 レクリエーション(グラウンドゴルフ) 東彼川棚町

一〇月一四日二〇名の参加

4 波佐見町議選への取り組み 組織外候補、「横山聖代」さんの当選に向け

補、「横山聖代」さんの当選に向け

電話連絡等の活動を行いました。波佐見在住の幹事さんの教え子という事で、一四名の定員(定員を二名オーバー)中七六五票で、トップ当選を果たしました。

5 退教連合同学習会 (最下位当選は、四〇〇票)

(島原 一〇月二十九日)

テーマ 「憲法もんだい」

演題 「憲法改正で何を狙うのか」

新旧支部長と副支部長の男子三名

女性二名の計五人の参加

6 現役・退教協合同の団結旗開き

一月二二日

(富士松、約四五名の参加)

7 退教協役員会(一月二四日六名)

「違憲もんはいけん! 第二陣原告

団」参加について

8 次年度の役員選について(意思表示

役員選委員会(二月九日 五名

委員長・副委員長選出)

9 役員会(二月一六日予定)

レクリエーション

(グラウンドゴルフ) 三月十日

大村野岳ロザモタ広場の予定

11 幹事会(三月十五日の予定) 完

家庭教育法案

なぜ今、何のために

いま、このような法律をつくる必要がどこにあるのか。

自民党が今国会への提出をめぐり、家庭における教育を支援するた... だ。家庭に国や自治体、学校・保育所... 設置者、さらには地域住民の責務や... 役割を法律で定めるといふ。家族が... ともに過ごす時間が減ったり、家庭... と地域の関係が薄まったりしている... ことを制定の理由にあげている。... 確かに一人親や経済的に余裕のな... い家庭が増え、虐待や家庭内暴力の... 相談も絶えない。そうした人々のサ... ポートに、従来以上に力を注がねば... ならない。... だが法案に書かれていた施策は、... 学習機会や情報の提供、相談体制の... 整備など、国や自治体がすでに取り... 組んで進めるものばかりだ。それら... 着実に進めればよいのであつて、あ... えて法律をつくる意図は何か、疑い... の目を向けざるを得ない。... ことさうのも、家庭や家族の意義を... べき家庭像を人々に押しつけよう... とする、この間の自民党や政権の逆... 立ちした発想と施策があるからだ。... 第1次安倍内閣で成立した改正教... 育基本法は、「家庭教育」の名のも... と、父母ら保護者の責任を定める条... 文を新設した。政府の教育再生会議... は、「子育て指南として」「子守唄を歌... い、おっぱいをあげる」との提言を... まとめようとして批判を浴びた。... 自民党改憲草案は「国民は、個人... として尊重される。」の「個人」を... 「人」に変え、憲法の基本理念をあ...

いまいにする一方、「家族は、互い... に助け合わなければならない」と書... くに。今回の法案づくりでも自民党は... 当初、子どもに必要な資質が備わるよう... 成者として必要の役割と位置づ... けにすること「を家庭の役割と位置づ... けていた。底を流れるのは、まず国... 家や社会があり、その役に立つ人材... を育てるために家庭がある。そして、... そのような家庭を築く目標に向けて、... 国などは支援をするという考えだ。... 法案を先取りする形で、家庭教育... に関する条例を設ける動きが全国の... 自治体に見られるが、中には「祖父... 母の役割」にまで言及しているケ... スもある。... 求められるのは、法律をつくって... 国民や家庭をひとつの類型にはめる... ことではない。... さまざまな生き方や家族の姿があ... えることを認めたらうで、困難をかか... 困や経済不安の解消をめざす。国や... 自治体の役割は、本来そうした環境... 整備にあることを改めて確認したい。

編集後記

「前記の文」は、朝日新聞・2月19... 日朝刊・掲載より、転載した文です。... 更に文部科学省は、小中学校、学... 習指導要領の改訂を既に公表してい... ます。受ける側の児童・生徒・教師... にとつて、ますます負担が増し、楽... しい学校が、嫌いな学校に... は、考え過ぎでしょうか。